

株式会社 松屋 2019年1月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-1.5	4.6
② 銀座店	-1.2	5.7
③ 浅草店	-5.9	2.8

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
銀座本店	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7	-1.9	6.9	2.0	4.2	5.2	1.9	-1.5
松屋銀座	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7	-1.6	7.4	2.0	4.4	6.0	2.4	-1.2
松屋浅草	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7	-5.6	0.7	1.3	2.7	-4.0	-4.3	-5.9

3. 店舗別商況

銀座店	国内外のお客様の旺盛な購買により化粧品が引き続き堅調に推移するも、コート等防寒衣料品の最終消化を図った婦人衣料品が苦戦(①クリアランスセールは前年に対して9掛、春物商材を軸としたプロパーは前年ベースに推移 ②ミセス～シニア層を対象とした婦人服フロアのリニューアル工事の影響も全体に影響)したことが要因となり、衣料品全体の売上高は前年を下回りました。また、免税売上高につきましては、化粧品を軸とした消耗品は好調(前年対比二桁増)を維持するも、ラグジュアリーブランドを中心とした一般品の売上高が前年を下回ったことにより、全体の売上高は前年に届きませんでした。以上の結果により、店全体の売上高も僅かに前年に届きませんでした。
浅草店	洋菓子等が好調に推移するも、婦人衣料品・生鮮三品・惣菜の売上高が前年割れに付き、店全体の売上高は前年を下回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	1.3	1.3
婦人服・洋品	-7.0	-7.0
子供服・洋品	-7.9	-7.9
呉服寝具他	-10.3	-10.0
衣料品計	-5.9	-5.9
身廻り品	-3.9	-3.9
雑貨	6.2	7.3
家具	29.2	28.9
家電	54.4	56.1
家庭用品	-22.0	-22.1
家庭用品計	-0.2	-0.4
食料品	-2.1	-1.4
食堂・喫茶	-6.7	-6.7
サービス、その他	53.0	58.2
合計	-1.5	-1.2

商品別概況(銀座店)

*婦人服・洋品は、前半・後半と2回に分割したクリアランスセールにおいても防寒衣料の消化が鈍く、また、一部の婦人服フロアにて改装等を行っていたため、売上高は前年を下回りました。一方では、春物の入荷に伴う海外ブランドの衣料品は堅調に推移し、売上高は前年ベースとなりました。

*化粧品は、国内外のお客様の旺盛な購買により売上高は前年を大幅に上回りました。

*「中古カメラ市」「婦人フォーマルバーゲン」等の催事が好調に推移し、全体を牽引しました。

※「2019年2月上報告」は、3/1(金)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639